

地域年金展開事業【京都府】

令和 7 年 2 月

京都南年金事務所
(京都府代表事務所)



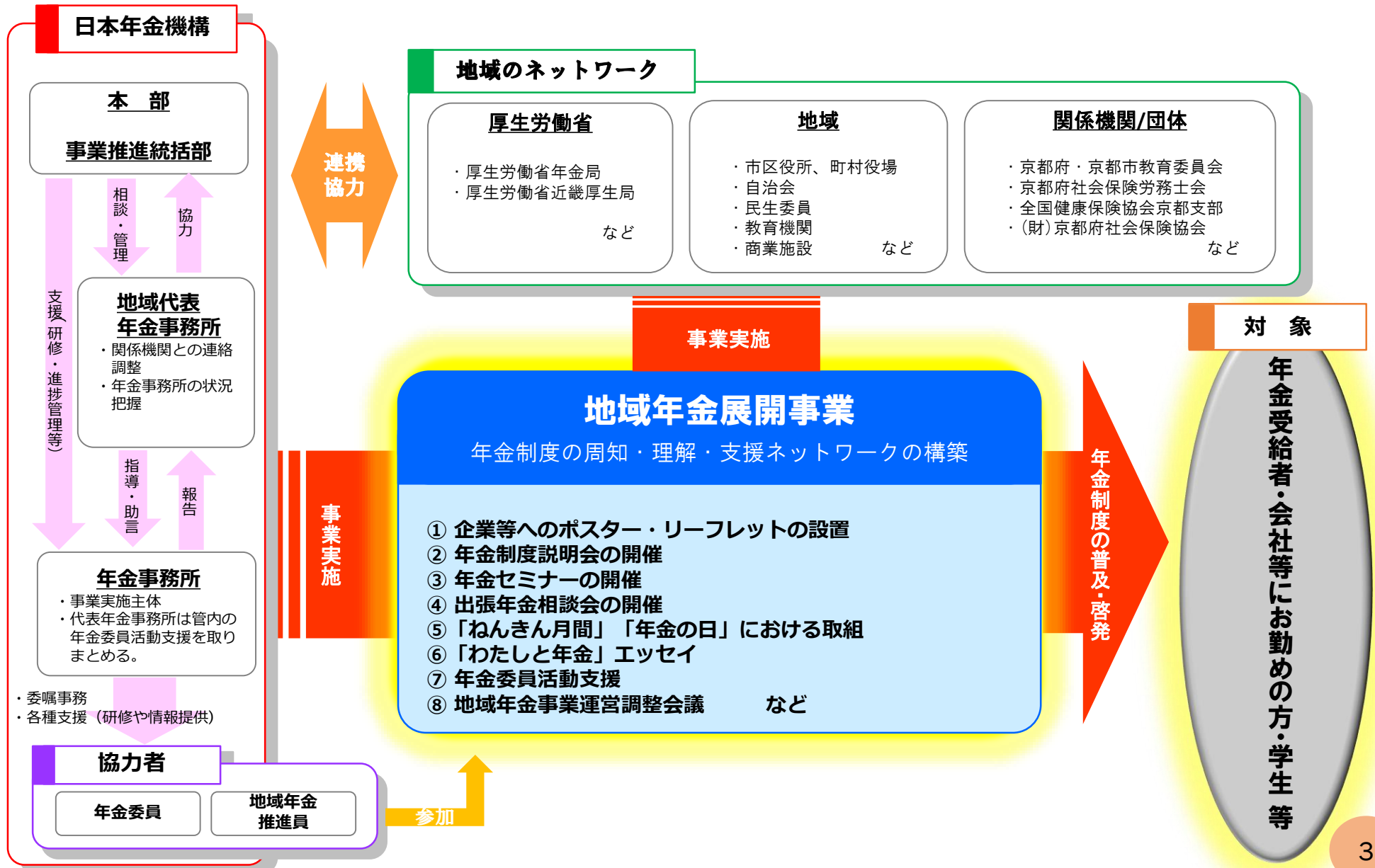
日本年金機構

Japan Pension Service

目 次

1. 地域年金展開事業の概要 3～5 P
2. 令和6年度事業実施中間報告 6～19 P
3. 令和7年度 取組方針・事業計画（案） 20～23 P

地域年金展開事業の概要：地域年金展開事業のイメージ図



地域年金展開事業の概要

公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料納付率の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』等を実施する。

また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺う。

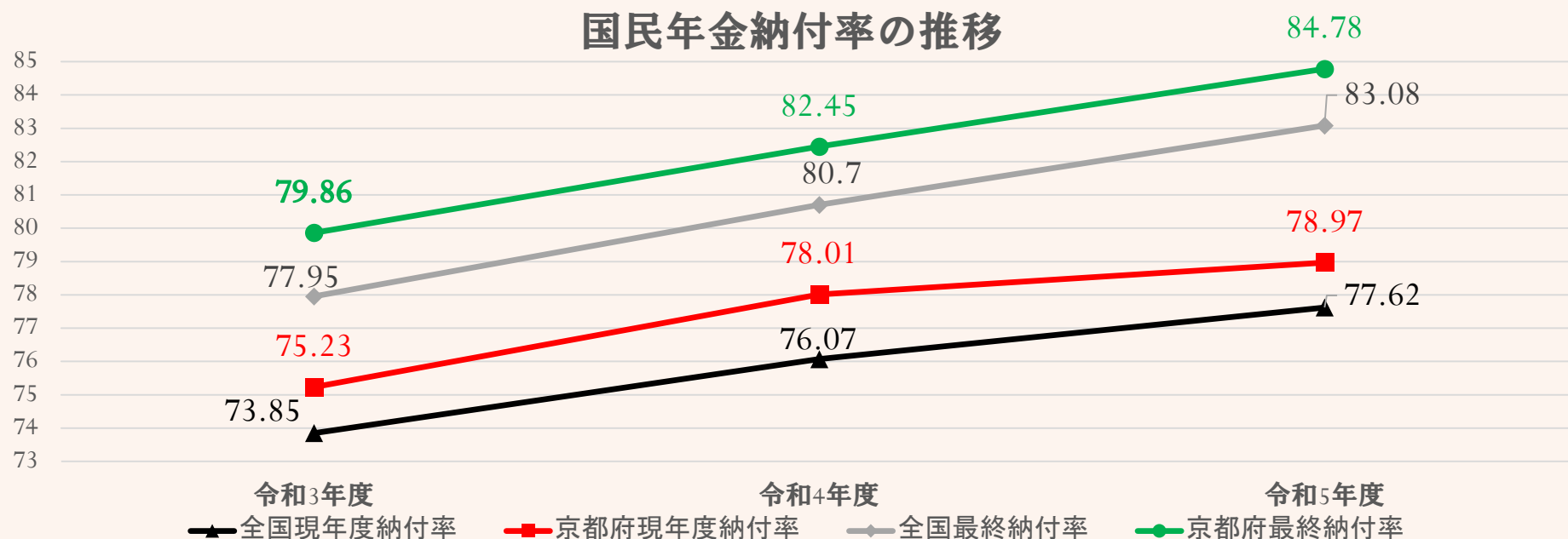
事業	概要	主な取り組み
地域連携事業	自治体・企業・関係団体等と連携し、地域住民の皆様に正しい年金制度の知識や手続き、また年金制度説明会の開催やイベント会場において広く住民の皆様年金制度を周知するための活動。	・リーフレット等の配布 ・年金制度説明会の開催 ・「ねんきん月間」、「年金の日」の取組
年金セミナー事業	学生・生徒等の若い世代が、年金制度の正しい知識や手続きに触れ、公的年金制度が身近で重要なものであることを理解いただくための活動。	・年金セミナーの開催 ・年金推進員の活動支援 ・年金セミナー講師の育成
地域相談事業	年金事務所から遠方の地域住民の利便性の向上を図るため、市区町村の公共施設等において出張年金相談や国民年金保険料納付相談窓口を開設する。	・出張年金相談の開催 ・国民年金保険料納付相談会の開催
年金委員活動支援事業	職域型年金委員、地域型年金委員の活動を支援するため、研修会の開催や情報誌・リーフレット等を提供する活動。	・年金委員の委嘱拡大 ・情報誌の発行 ・年金委員研修会の実施 ・年金委員功労者表彰式の開催
地域年金事業運営調整会議	公的年金制度の普及・啓発活動や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置する。	・地域年金事業運営調整会議の開催

地域年金展開事業の概要：京都府における国民年金事業の状況

【国民年金保険料納付率の推移】

国民年金保険料の納付率は、国民の皆様の年金制度に対する信頼のバロメーターと言われており、地域年金展開事業における公的年金制度の普及・啓発活動の取組は、年金事業の安定的な運営に大きな影響を与えています。

全国の国民年金納付率は、令和5年度の現年度納付率に至るまで12年連続で上昇を続けており、令和2年度分の国民年金保険料の最終納付率は、令和4年度において80%に到達（回復）しました。



	全国現年度納付率	京都府現年度納付率	全国最終納付率	京都府最終納付率
令和3年度	73.85%	75.23%	77.95%	79.86%
令和4年度	76.07%	78.01%	80.70%	82.45%
令和5年度	77.62%	78.97%	83.08%	84.78%

令和6年度 事業実施中間報告

【地域連携事業】

- ◆職員が自治体、事業所、関係団体等に赴き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施する。
- ◆市区町村等が発行する広報誌への記事掲載やポスター・リーフレット等の設置依頼、また、11月の「ねんきん月間」や11月30日の「年金の日」において、大規模商業施設を活用して、年金制度や日本年金機構の事業の周知・広報活動を行う。

地域連携事業の取組内容①

「ねんきんネット」は、スマートフォン等からご自身の年金情報を手軽に確認できるサービスです。

利用者数
1000万人突破！

マイナポータルとの連携で「ねんきんネット」はもっと便利に！

「ねんきんネット」を使って以下のことができます

- ご自身の年金記録の確認
- 将来の年金見込額の試算
- 「ねんきん定期便」や各種通知書の確認
- 納付書によらない納付
- 持ち主不明の年金記録の検索 など

さらに！
マイナポータルとの連携で以下の機能が利用できます

- 国民年金保険料口座振替の申出
- 扶養親族等申告書の電子申請
- 確定申告・年末調整に必要な書類の電子送付 など

「年金の日」とは
厚生労働省では、「国民一人一人、ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただくとして、11月30日(いいいい)を「年金の日」としました。

11月30日は年金の日

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

日本年金機構
Japan Pension Service

令和6年度は、年金制度周知広報に加え、日本年金機構の事業の重点項目である「ねんきんネット」・各種届書の電子申請・各種情報の電子送付等のオンラインビジネスサービスの利用促進のための周知・広報活動を積極的に展開した。

○ 広報誌への記事掲載、リーフレットの設置依頼

【市区町村】

- ・職員向け情報誌「かけはし」を配付。(奇数月)

【ハローワーク】

- ・オンラインサービスのリーフレットの設置を依頼

【社会保険協会】

- ・広報誌「社会保険きょうと」へ記事掲載。(偶数月)

【京都府内の商工会議所・商工会】

- ・オンラインサービスに関して、HPページへの記事掲載やリーフレットの設置を依頼

【京都銀行・京都信用金庫・京都中央信用金庫・JAバンク京都連合会】

- ・オンラインサービスのリーフレットの設置を依頼

地域連携事業の取組内容②

○年金制度説明会・研修会の開催

【20歳到達者】

実施回数：計35回（203人）

【行政機関（京都拘置所）】

実施回数：計13回（106人）

（主なテーマ）国民年金制度

【関係機関・関係団体等（社会保険労務士会・社会福祉協議会）】

実施回数：計18回（377人）

（主なテーマ）オンラインサービスについて

【事業所（新規適用事業所）】

実施回数：計35回（1,086人）

・算定基礎届事務講習会

【年金受給者】

実施回数：計6回（372人）

・年金受給者説明会

《年金制度説明会等の実施状況》（令和6年4月～12月）

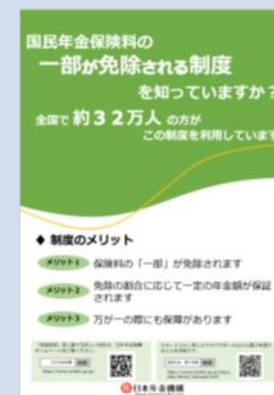
実施回数と人数	20歳到達者	行政機関	関係機関	事業所	年金受給者
令和5年度（回数/人数）	23回/170人	16回/132人	2回/51人	35回/1,566人	0回/0人
令和6年度（回数/人数）	35回/203人	13回/106人	18回/377人	35回/1,086人	6回/372人

【総括】

令和6年度の算定基礎届事務講習会は、京都労働局・全国健康保険協会京都支部と共催し、参集により7会場・8回開催した。直接説明できる機会でもあり今後も実施したいが、今後、参加者数を増やすための取組の検討が必要。

令和6年度新たに、京都府社会福祉協議会及び京都市社会福祉協議会の職員37名に対して、国民年金保険料免除制度の研修を実施した。今後も生活困窮者への制度周知のために実施したい。

また、商工会議所・商工会の会員に対してオンラインサービスの説明会を実施した。今後、会員の更なる利用促進に向けた取り組みを進める必要がある。



地域連携事業の取組内容③

○京都市内税務署の合同確定申告会場への職員の派遣

(実施の背景)

毎年、2月中旬から3月中旬にかけて京都市内の税務署（上京・左京・中京・下京・右京の5税務署）では、合同の確定申告会場が設けられており、e-Taxによるオンラインでの確定申告の提出を推進されていました。



一方、年金事務所では、確定申告の時期に「**公的年金等の源泉徴収票**」や「**社会保険料控除証明書**」の再交付の相談が増えることから、これまで税務署に再交付の申請方法についてリーフレットを設置する等で周知をお願いしておりました。

しかし、日本年金機構も「公的年金等の源泉徴収票」の金額確認や「社会保険料控除証明書」の再交付の申請がオンラインで可能となったことから、令和6年度より、税務署と協力し合同確定申告会場において、住民の皆様には年金オンラインサービスの周知と機器の操作方法を指導することでオンライン化の推進を図ることとした。

(実施内容)

令和6年度は、京都市内の合同確定申告会場（西陣織会館）のブース（6ブース）において、2月13日（年金受給者のみ）、2月17日～3月3日の間、「公的年金等の源泉徴収票」の金額確認の方法や「社会保険料控除証明書」のオンラインによる再交付申請方法等を個別に指導する。

今回は、初めてということもあり京都市内の年金事務所職員を延べ60名を派遣。

○舞鶴税務署の確定申告会場への職員の派遣

舞鶴年金事務所では、2月12日～18日にかけて舞鶴税務署の確定申告会場に職員を派遣し周知活動及び操作方法の個別指導を実施した。

○税務署職員への研修の実施

伏見税務署・宇治税務署においては、税務署職員を対象として、「公的年金等の源泉徴収票」の金額確認の方法や「社会保険料控除証明書」の再交付申請方法の研修会を実施した。



地域連携事業の取組内容④

○「わたしと年金」エッセイの募集

公的年金制度との関わりなど「わたしと年金」をテーマにしたエッセイについて、以下のとおり関係機関への協力依頼を行った。

- ・ 京都府教育委員会・京都市教育委員会等 5 か所の関係機関・関係団体
- ・ 教育機関…… 5 3 3 校（文書）
- ・ その他、セミナー開催時等、教育機関の先生にも直接依頼を行っています。

令和6年度は、京都西年金事務所において、年金セミナーを実施いただいた京都聖カタリナ高等学校にアプローチした結果、夏休みの課題の一つとして取り組んでいただき、8名の学生から応募していただきました。

【京都府における応募件数】

	一 般	学 生	計
令和4年度	1名 (89人)	0名 (1,919人)	1名 (2,008人)
令和5年度	1名 (80人)	2名 (1,529人)	3名 (1,609人)
令和6年度	0名 (67人)	8名 (1,422人)	8名 (1,489人)

※ 令和6年度の学生 8 名は、京都聖カタリナ高等学校の生徒です。

※ 令和5年度の学生 2 名は、京都教育大学付属桃山中学校の生徒です。

※ 括弧内は全国の実応募件数です。

【総括】

令和6年度は、1校から8名の応募。

【課題】

各種団体、教育機関、市区町村、関係機関・関係団体へのアプローチ時期・方法・回数を工夫して応募数の増加を図る必要がある。

地域連携事業の取組内容⑤

○「ねんきん月間」・「年金の日」の取組

毎年、11月を「ねんきん月間」として、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しており、11月30日（いいみらい）を「年金の日」として厚生労働省と連携し、国民の皆様へ公的年金制度を身近に感じていただき、公的年金制度に対する理解を深めていただくことを目的として、関係機関・団体へリーフレットの設置協力依頼や各年金事務所内においてポスターを掲示する等を実施している。

○「ねんきん月間」の取組

「ねんきん月間」では、年金セミナー・年金制度説明会・出張相談会を中心として、積極的に公的年金制度の普及・啓発・広報活動を実施した。

【年金セミナー】 8校 994人

【年金制度説明会】 8会場 75人

【社会保険労務士会：年金マスター研究会】 1会場 15人

【出張年金相談会】 3会場 18人

【年金委員研修・表彰式】

令和6年11月25日（月）約100人

【年金セミナー・制度説明会王決定戦京都府予選会】

令和6年11月8日（金）京都府代表：中京・下京



11月は ねんきん月間です

日本年金機構は厚生労働省と協力して、
公的年金制度の普及・啓発活動に取り組みます。

日本年金機構の取組内容

アニメーション動画や「わたしと年金」エッセイの優秀作品の掲載等、日本年金機構ホームページに「ねんきん月間」特集ページを設置します。



日本年金機構公式X(旧Twitter)で、年金制度に関するミニ講座(知っておきたい年金のはなし)を実施します。



詳しくはこちら
日本年金機構公式X(旧Twitter)
特設案内ページ

年金セミナーや年金制度説明会、出張年金相談会を実施します。



年金豆知識

国民年金保険料を
納めるのが難しい場合は…

申請することで、保険料の納付が免除、または猶予される制度があります。保険料を納めないまま放置すると、年金を受け取ることができない場合があります。

“ねんきんネット”は年金記録や
年金見込額を確認できるサービスです！

国民年金の加入月数や納付状況等の最新の年金記録をパソコンやスマートフォンから手軽に確認できます。また、持ち主のわからない年金記録も検索できます。(亡くなられた方の記録も含みます)ぜひご利用ください!!



詳しくはこちら



ねんきんネット
特設サイト入口ページ

この機会に公的年金について考えてみませんか？

詳しくは、日本年金機構ホームページをご覧ください。 <https://www.nenkin.go.jp/>

日本年金機構 検索

 **日本年金機構**
Japan Pension Service

地域連携事業の取組内容⑥

○「年金の日」の取組

【年金相談】

令和6年11月30日は土曜日でしたが、年金事務所・街角の年金相談センター等を開所し年金相談を実施した。

【国民年金納付相談会】

令和6年11月30日に京都南年金事務所で国民年金納付相談会を実施した。

【オンラインサービス利用促進】

イオンモール京都で『ねんきんネット』周知活動の実施

会 場：イオンモールKYOTO Sakura館

日 時：令和6年11月30日（土） 11時～16時

活 動：リーフレット配付 約600人 個別ブース対応 約15人（立ち話によるPR 3人）

※この日は、同じ会場で、全国健康保険協会京都支部もマイナ保険証の利用促進に取り組まれました。

●当日のイオンモールKYOTOのホームページの記事掲載『ねんきんネット』はじめませんか。
11月30日は「年金の日」。
国民お一人お一人、「ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らせていただく日です。



デジタル庁からマイナちゃんにお越しいただきました。
マイナちゃんは
子供に大人気です！



「ねんきんネット」
マスコットキャラクター
年金 太郎



【年金セミナー事業】

次世代を担う若年層が正しい年金の知識を身に付け、公的年金制度が身近で重要なものであることに理解を深めていただくために、年金セミナー事業に積極的に取り組んでいる。

年金セミナー事業の取組内容①

【開催の協力依頼】

- 年金セミナーの開催に向け、年度当初に京都府教育委員会・京都市教育委員会をはじめとした各市教育局委員会へ訪問し、協力依頼を行う。
- 京都府の教育機関に対して、各年金事務所より年金セミナー開催依頼と希望の有無についての文書を送付
昨年度は、未回答の教育機関に対してアプローチを行わなかったが、本年度は電話等によるフォローアップを行った結果、年金セミナーの開催校が増加した。
- 年金推進員の活動
教育機関職員のOBの年金推進員に、学校への訪問等により、年金セミナー開催の勧奨をお願いしている。令和6年度は3名の年金推進員が活動しており、年金セミナーの開催を獲得している。

《年金セミナー実施状況》

	大学・短大	専修学校	高等学校	中学校	小学校	計
令和4年度	1校	22校	16校	2校	0校	41校
令和5年度	0校	6校	7校	0校	0校	13校
令和6年度	5校	13校	15校	1校	2校	54校

※対面型・オンライン形式・DVD等視聴形式がある。また令和6年度は開催予定を含む

年金セミナー事業の取組内容②



龍谷大学の年金セミナー



京都共栄学園高等学校の年金セミナー



京都府立久御山高等学校の年金セミナー

【職員の育成】

○日本年金機構『年金セミナー・制度説明会王決定戦』

日本年金機構職員による年金セミナー・制度説明会王決定戦を開催し、プレゼンテーションスキル向上に取り組んでいます。

令和6年度の近畿地域第二部の代表は下京年金事務所の職員。

年金セミナー事業の取組内容③

【総括】

年金セミナーの開催案内で未回答の教育機関に対して電話等によるフォローアップを行った結果、年金セミナーの開催校が増加したことから、今後も同様に進めることが重要。

特に、専修学校は、担当者の異動が比較的少ない傾向にあり、継続して実施していただける割合が高いことから、担当者との接点をつないでいきたい。

また、令和6年度は、外国人の学生を対象とした英語による年金セミナーや小学生を対象とした年金セミナーの開催を経験した。分かりやすい資料作りに先生方にもご協力いただいたので今後の資料に活かしていく。

【課題】

「英語を話せます」という職員が少ないことから、講師の育成が必要。また、小学生や中学生に対する年金セミナー内容の検討が急がれる。先生方にもご協力いただき充実していく必要がある。

年金セミナー開催学校（開催順）

【大学・短期大学】

京都医療科学大学
京都光華女子大学
京都文教大学・文教短期大学
龍谷大学
京都情報大学院大学

【中学校】

京都市立花山中学校
京都光華中学校

【小学校】

京都市立御室小学校
京都市立西大路小学校

【専修学校】

京都医療福祉専門学校
京都府立陶工高等技術専門学校
舞鶴YMCA国際福祉専門学校
日産京都自動車大学校
京都コンピュータ学院
京都中部総合医療センター看護専門学校
京都近畿情報高等専門学校
京都歯科医療技術専門学校
京都保健衛生専門学校
京都公務員&IT会計専門学校
京都医療センター附属看護助産学校
瓶井学園日本語学校
京都第二赤十字看護専門学校

【高等学校】

京都府立京都八幡高等学校南キャンパス
京都暁星高等学校
平安女学院高等学校
京都共栄学園高等学校
京都府立大江高等学校
京都府立東稜高等学校
京都府立西城陽高等学校
京都聖カトリナ高等学校
京都府立久御山高等学校
日星高等学校
京都市立日吉ヶ丘高等学校
福知山淑徳高等学校
京都府立福知山高等学校三和分校
京都府立北桑田高等学校
京都府立峰山高等学校



【地域年金相談事業】

地域年金相談事業の取組内容

【出張年金相談会】

年金事務所から遠隔地の市町に赴き、年金全般にかかる相談・受付窓口を開設する。

（参考）令和5年度：28回実施（相談人数183人）

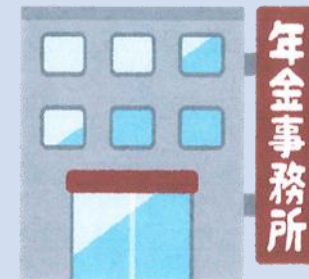
【国民年金納付相談会】

令和6年11月30日の年金の日に、京都南年金事務所において国民年金保険料納付相談会を開催した。

来所相談：6名

【総括】

出張相談は、地域住民の利便性とニーズを確認しながら、自治体との連携を図り実施の可否を含め検討する必要がある。



《令和6年度出張相談の内訳》（令和6年4月～12月）

	木津川市 (市庁舎北別館)	八幡市 (八幡文化センター)	福知山市 (市庁舎)	京都府北部地域 (峰山総合福祉センター)	合計
実施回数	4回	3回	5回	5回	17回
相談人数	26人	24人	31人	31人	112人

【年金委員活動支援事業】

年金委員活動支援事業の取組内容①

- ◆職域型年金委員：職場において、従業員へ年金制度の普及・啓発活動を行っている協力者
- ◆地域型年金委員：居住地域において、住民に対して年金制度の普及・啓発活動を行っている協力者

【意見交換会及び研修等の実施】

- ・ 京都府連絡会及び地区連絡会を令和6年5月29日に参集で開催した。
- ・ 全国年金委員研修が令和6年11月11日に機構本部にて参集で開催され、京都府より職域型・地域型それぞれ1名が参加した。
- ・ 年金委員功労者表彰式に併せて、健康経営戦略に関する研修会を実施し約100名が参加した。

【情報提供】

年金委員（職域型・地域型）向け情報誌「ねんきんNEWS」を四半期ごとに発行した。

【委嘱数拡大の取組】

- ・ 職域型年金委員については、令和6年10月施行の短時間労働者にかかる健康保険・厚生年金保険の適用拡大を踏まえ、対象となる被保険者数50人以上事業所を中心に勧奨を実施した。
- ・ 地域型年金委員については、市区町村職員・教育機関関係職員を中心に委嘱を拡大した。

《年金委員数の推移》

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (6年12月)
職域型年金委員	1,613人	1,692人	1,743人	1,793人
地域型年金委員	91人	120人	127人	130人



【総括】

委嘱拡大については、ターゲットを絞った集中的な取り組みを実施した結果、職域型・地域型ともに委嘱数が増加した。

【課題】

安定した年金委員委嘱数の拡大と研修会への参加者数増加に向けた工夫が必要である。

年金委員活動支援事業の取組内容②

○年金委員表彰の実施

【開催日】 令和6年11月22日（水）13：30～16：00

【開催場所】 京都府民総合交流プラザ 京都テルサ テルサホール

【表彰内容】 令和6年度 京都府年金委員・健康保険委員功労者表彰式

【表彰内訳】 厚生労働大臣表彰 1名、日本年金機構理事長表彰 2名、日本年金機構理事表彰 6名

【総括】

京都府年金委員・健康保険委員功労者表彰式は、「ねんきん月間」において、厚生労働省・全国健康保険協会京都支部と合同で実施し、京都府社会保険協会にも共催をいただいて開催した。また併せて、(株)バックテック代表取締役CEO福谷氏を招き『人材不足を解消する健康経営戦略～ミドル・シニア社員が輝く職場づくり』をテーマとした研修会を開催した。

【課題】

コロナ禍以降、全国健康保険協会京都支部と別々に表彰式を開催していたが、令和6年度は合同開催ができ良かったと考えている。ただ、出席者が100名程度であったことから、参加者を増やす工夫が必要である。



※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

【地域年金事業運営調整会議】

取組内容

○ 第11回 京都府地域年金事業運営調整会議の開催

【開催日時・場所】

令和6年2月19日（月）14時～16時 京都府民総合交流プラザ 会議室

【議 事】

- ・ 地域年金展開事業の概要
- ・ 令和5年度「地域年金展開事業」事業実施中間報告
- ・ 令和6年度取組方針と事業計画（案）

【総括】

対面による年金制度説明会や年金セミナーができるようになり、多様なニーズに応じた取り組みができている。

【課題】

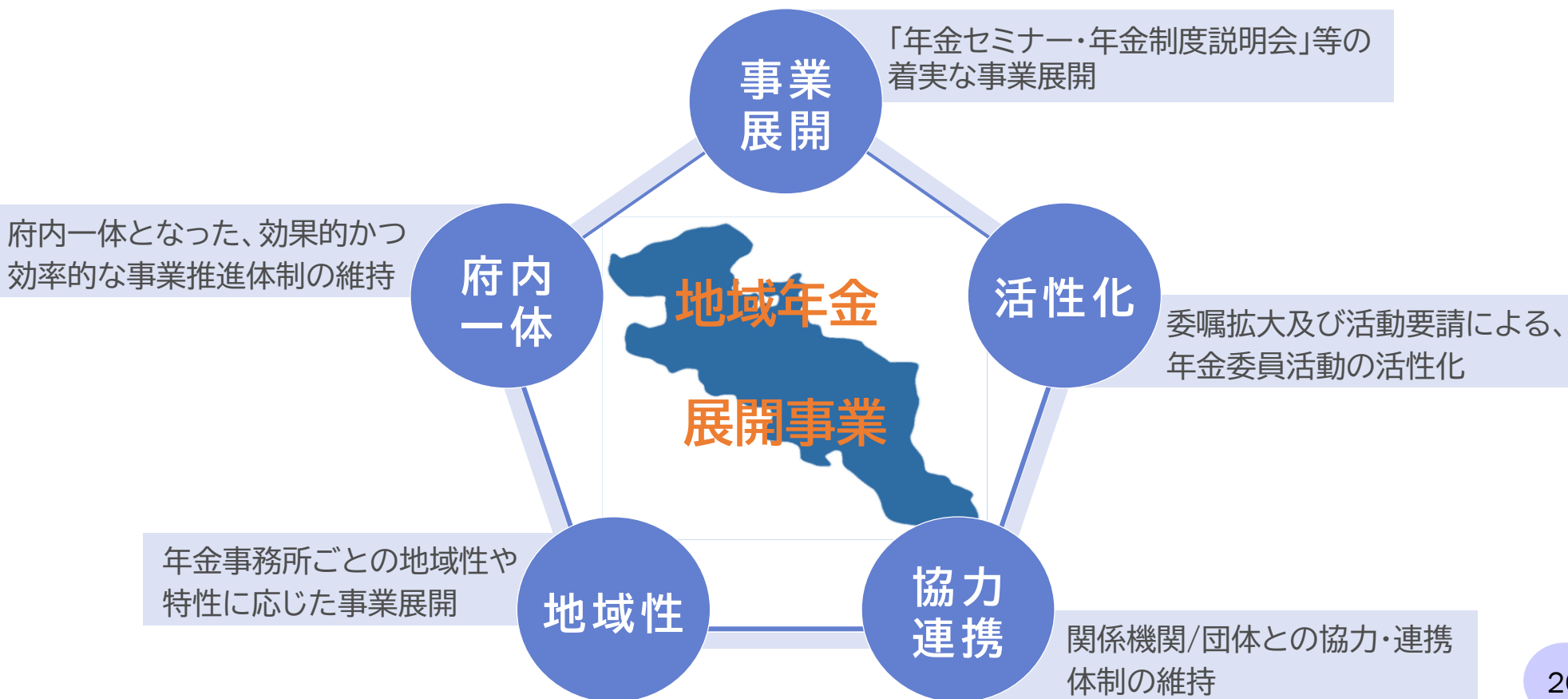
- ・ 年金受給権確保や低年金防止のサポーターとなる年金委員の委嘱拡大を図る必要がある。
- ・ 年金セミナーの開催校・開催数を拡充していく必要がある。
- ・ 「わたしと年金」エッセイ応募件数獲得に向け、教育機関等を中心に協力依頼及び広報活動の強化を図る必要がある。

項目	第11回地域年金事業運営調整会議でいただいたご意見・ご質問等（抜粋）
年金セミナー・ 制度説明会に関して	令和4年度に比べ令和5年度の開催校が少ないのは、何か理由があるか？
	若い人向けだけでなく、60歳代の方への公的年金と私的年金の組み合わせで将来に備えるなどの話とかで集客を図るのもいいと思う。
	18歳が成人になり、選挙権も持つようになり、政治的教養も必要なこの年齢層の方々に対して年金の大切さとか、将来の年金のことを教えていくのもいいと思う。
「わたしと年金」の エッセイに関して	令和5年度は京都教育大学附属桃山中学校の生徒さんが二人だけ応募いただいたようですが、この辺りをもう少し工夫ができればもっと応募いただけたと思う。
	文字離れが言われる中、映像とか思いをいろんな形で表現できるようにするのもいいのではないかな。

令和7年度 取組方針・事業計画（案）

【取組方針】

地域住民の皆様の公的年金制度に対する理解をより深めるため、地域・教育・企業・関係団体等と協力・連携を図り、地域に根差した年金制度の普及・啓発活動を府内の年金事務所が一体となって推進し、年金制度の安定的な運営・国民年金保険料納付率の向上に努める。



令和7年度 取組方針・事業計画（案）

【事業計画】

地域連携事業

① 関係機関・団体等と連携した取組

自治体・企業・関係機関・関係団体等の窓口リーフレット・ポスターの設置を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。また、依頼を行うにあっては、社内LANやホームページへの記事掲載についても協力を依頼する。

② 企業・団体に対する年金制度説明会（オンラインサービスの説明会）の開催

企業や団体に対して、年金制度や事務手続の説明会を開催し、制度の理解と届書の電子申請及びオンラインサービスの利用促進を図る。

③ 「わたしと年金」エッセイ募集の取組

教育関係機関をはじめとして、学生・生徒・一般からの応募数増加に向けて積極的に取り組む。

④ ねんきん月間・年金の日の取組

大規模商業施設等で、「ねんきんネット」・オンラインサービスの利用促進の広報活動を行う。
今年の「年金の日」は、日曜日にあたることから年金相談の実施も含め体制を確保する。

令和7年度 取組方針・事業計画（案）

年金セミナー事業

学生・生徒等の若い世代が、年金制度の正しい知識や手続きに触れ、公的年金制度が身近で重要なものであることを理解いただくことは地域年金展開事業の核となる取り組みであるため、各種教育機関の協力をいただきながら年金セミナーを積極的に実施する。

また、セミナーの内容の充実と講師の人材育成に取り組む。

① 前年度を上回る年金セミナーの実施

京都府教育委員会、京都市教育委員会をはじめとした各市教育委員会、京都府校長会等への協力依頼の後、すみやかに年金セミナー実施に向けたアプローチを行う。特に年金セミナー開催校については、継続実施をお願いする。

② 外国人留学生への年金セミナーの実施

③ 先生方のご意見を基にした教材の充実

④ 大学や専修学校等の年金セミナーの実施及びリーフレット等の設置依頼

⑤ 地域年金推進員の活動支援

⑥ 管轄にとらわれず京都府内年金事務所が一体となって協力し、安定した事業を展開する

地域相談事業

出張年金相談については、市町村や住民の皆様のニーズに応じて柔軟に対応する。

令和7年度取組方針・事業計画（案）

年金委員活動支援事業

年金委員は、職場・地域における公的年金制度の周知・啓発の重要な役割を担っており、委員活動の一層の活性化を図るとともに、委員活動が充実し円滑に行えるよう次の取り組みを行う。

① 職域型・地域型年金委員委嘱数の拡大

職域型年金委員については、年金委員未設置事業所に対し積極的に勧奨する。また、地域型年金委員については、市区町村職員・教育機関関係者の委嘱を強化する。

② 年金委員への適時適切な情報提供

「年金委員向け情報誌『ねんきんNEWS』」を充実させ、四半期ごとに送付し活動支援を行う。

③ 地域型年金委員連絡会・地区連絡会の開催

地域型年金委員連絡会・地区連絡会を定期開催し、地域型年金委員の活性化を図る。

④ 年金委員研修の実施

職域型年金委員の研修会を開催し制度の理解を深める。

⑤ 年金委員功労者表彰

「ねんきん月間」に年金委員活動の功労者について表彰を行う。

地域年金事業運営調整会議

令和8年2月に会議を開催し地域年金展開事業推進に関する意見・助言をいただく。